

令和4年度事業報告

新型コロナウイルス感染症に伴う全国のまん延防止等重点措置は令和4年3月末をもって全て解除されました。我が国の景気は、ウクライナ情勢等を背景とした原材料価格の上昇や供給制約等が下振れリスクとなってきましたが、経済社会活動の正常化が進む中で、上向きの動きが続いています。

また、広島県の令和4年度有効求人倍率は1.57倍で令和3年度に比べ0.19ポイント上昇し、女性や高齢者等、一層の労働参加の促進が必要であるとされています。

こうした中、内閣府が策定した「高齢社会対策大綱」にあるとおり、意欲ある高齢者の能力発揮を可能にする社会環境を整えること、生涯現役社会の実現に向けた社会的な機運の醸成を図るためにシルバー事業への期待はますます大きくなりました。

事業実績は役・職員、会員が就業開拓に努めた結果、請負・委任事業の契約件数は1,555件、金額は前年度に比べて8.7%増の153,205千円及び派遣事業の契約件数は35件、金額は18.5%増の29,499千円となり、ともに前年度を上回りました。

また、会員数については、企業における定年延長の推進、年金受給開始年齢の上昇などの問題があり全国的に会員が減少する中で、当センターにおきましては、第四次中期計画に基づいた地道な会員拡充を実施した結果、前年度からは4人増の409人となりました。

以下、令和4年度事業実施状況について報告いたします。

(1) 事業運営の健全化と組織体制の強化

公益社団法人として、公益性を重視した事業運営に徹し、公平・公正・透明性のある事業運営を推進しました。

また、コロナ禍の中で多様なサービスを地域に提供できる存在として会員、役・職員の三者が一体となった事業運営を実施しました。

- ① センター組織の決定機関である理事会及び各部会、各委員会の積極的な活動を図り、事務局及び役員並びに会員との連携や情報の共有を密にし事業運営の円滑な推進に努めた。
- ② 公益法人としての経営を視点においた職員の意識改革を図り、適正な役割分担のもとに協力して組織体制の構築に努めた。

(2) 会員の増強

全国シルバー人材センター事業協会が設定した府中町シルバー人材センターにおける目標会員数410人を達成するため、毎月、「広報ふちゅう」等に広告を掲載しセンターのPRに努めました。

- ① 随時の入会説明会を行った。
- ② 保育園、民間事業等に女性会員拡充のための就業の開拓を行った。
- ③ 退会抑制のため、就業ニーズに合わせた就業面談を行った。

(3) 普及啓発活動の強化と実践

普及啓発活動として、10月に「安芸府中シルバーだより41号」を町内全戸に配布し、町民にシルバー人材センター事業の普及啓発及びPR活動を行いました。シルバーだよりは、会員就業場所の紹介や会員のインタビューを掲載しました。

全国一斉「シルバーの日」の10月15日にボランティア活動を実施し、役・職員を含めた49人が参加しました。

また、10月12日～18日の期間に歴史民俗資料館ギャラリーで企画展の開催、10月22日につばき祭りに出店する等積極的に啓発活動を展開しました。

なお、会員には「事務局だより」を発行し、センターの情報提供に努めました。

(4) 就業機会の開拓・確保

就業機会を創出し、受注の拡大を図るため、職員が就業先に下見や作業確認を行った際には、チラシやパンフレットを活用し新たな就業の開拓に努めました。受注件数は前年度より10件増の1,555件となりました。

- ① 公共からの継続的な就業機会の確保に努めた。
- ② 個別の就業相談を随時実施した。
- ③ 会員が「ロコミ」で就業開拓した結果、受注件数の増につながった。
- ④ 公共施設管理業務での女性会員への就業先の確保に努めた。

(5) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の推進

高齢化や労働力人口が減少する中、現役世代の雇用環境向上のため、人手不足分野における派遣事業での就業機会の開拓に努め、高齢者の活躍の場を創出し、高年齢者活用・現役世代雇用サポート事業に取り組みました。

行政、事業所、一般家庭からの就業の開拓を行い仕事の提供に努めた結果、請負委任・派遣事業の合計契約金額は「第四次中期計画」の目標値177,512千円を5,193千円上回りました。

また、依頼された仕事の働き方のひとつとして職業紹介事業に取り組みました。

(6) 安全・適正就業の推進

安全は全てに優先する重点課題であり、「安全就業対策推進実行計画」に基づき事故防止の徹底を図りました。

「事故ゼロ」を目指しておりますが、賠償事故3件(前年度4件)、傷害事故5件(前年度3件)、車両事故2件(前年度0件)となりました。

事故原因は就業中の、慣れや過信によるものと推測され、引き続き事故の多い職種に対して巡回等を行った。

適正就業の推進については、ひとりでも多くの会員が就業できるように、引き続き長期就業の是正を図り、ワークシェアリングを実施しました。

- ① 安全パトロールを年4回実施した。
- ② 安全標語の募集には令和4年度は12人22点が集まり、会員の安全意識の高揚につながった。
- ③ 剪定・除草班会議を開催し安全等について意見交換を行った。
- ④ 高齢者安全運転講習会を広島東警察署に依頼し、運転従事者31名が受講した。

(7) 会員の技能等向上の推進

令和4年度は、対面による公共施設管理会員の接遇対応の研修会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、会員にテキストを配布し理解度チェックシートにより研修を行いました。

また、施設清掃会員を対象とした研修会を開催しました。